

キセキ

いもと
井本
まさひこ
正彦

このセカイに生まれたキセキ
父と母と、
その父の父と母と、
その母の父と母と、
さらに、その父と母の、
また、その父と母と、
数知れない人々の人生を受け継ぎ、
ほんのわずかな可能性の中から
無限の可能性を秘めて
ワタシは生まれた

どんな国で生まれたって
どこで生まれたっていいじゃないか
おとこだって、おんなだって
どっちに生まれてもいいじゃないか
お金持っていて、持っていないか
学歴があっても、なくてもいいじゃないか

生まれてきた奇跡に感謝しつつ

父母に、友に、出会えた奇跡に喜び、

ともに地域を、社会を、世界をつくっていく

仲間と一緒に

差別に真摯に向き合い

闘ってきた先人の軌跡を

追い求め続けていこうではないか

そして、これから生まれてくる

奇跡の子どもたちのために

差別のない社会の基石をつくろうではないか

アフガンの詩人たちへ

かんとうじ みちこ
感王寺 美智子

ざざざ、ごごご 荒くれ者の筑後川は

長き時をかけ尖った石さえ丸くしてきた

ざつごつ、ばしゃつ 水が手招きをする

靴を脱ぎ河原のみつしりとした石に混ざる

私は一編の詩を紡ぎにここへ来た

ーアフガンは何処にでも詩人がいて、身分を

問わず集い、詩を吟じ合うのですよー

山田堰に立ち

国境の遥か遠く乾いた大地を

見つめるDr・サーブ中村

先人たちの教えを小さな背中に背負い行き

その遠き地に命の水音を繋いだ
みずね

その遥かな場所で同じ水音を聞く者達と
みずね

一編の詩を紡ぎ合いたくて私はここへ来た

ざざあ、ごごう ざー、ごうー

聞こえる 川渡る風 風踊る草 草走る蜥
とかげ

多種多様の呼吸が聞こえる

憎しみを打ち破り 許しを糧にし

一編の詩を贈り合う為にここへ来た

この堰のたった一つの石となる為に 来た